

## 夏におくる濃密なブラームス・ナイト!

ウィーンを知り、歌劇場も知るマエストロが、歌とオーケストラを融合させて感動の響きを創造。



指揮:

ベルトランド・ビリー

Bertrand de Billy, conductor

©Marco Borggreve

ブラームスのオーケストラ作品は、4曲の交響曲をはじめとする管弦楽作品、そして4曲の協奏曲などで満足できるのか。そうした疑問に「ちょっと待った!」と応えてくれるのが、声楽とオーケストラによる重要な作品群。『マタイの福音書』『ヨハネの福音書』『詩篇』『黙示録』などから引用してテキストを作り上げた「ドイツ・レクイエム」は、すでに多くの聴き手をもつ名作であり、「交響曲第1番への道」を模索し始めていた30代中盤の力作。そこからほどなくして生まれた「運命の歌」は、ヘルダーリンの詩をテキストに用いた劇的な作品。そして「哀悼の歌(悲歌、哀歌)」は、交響曲第1番・第2番やヴァイオリン協奏曲などを書いて管弦楽法(オーケストレーション)に磨きをかけた後の作品。多くの歌曲や合唱曲を書いたブラームスの声楽愛を知り、シブめですがしみじみと心に迫るこのプログラムを、ドイツ音楽に造詣が深いフランスのマエストロがじっくりと聴かせます。

2019年 7月4日[木]19:00開演  
サントリーホール Suntory Hall運命の歌 op.54  
Schicksalslied, op.54哀悼の歌 op.82  
Nänie, op.82ブラームス  
Brahms

1869年の全曲初演から150年記念

ドイツ・レクイエム op.45\*

Ein deutsches Requiem (A German Requiem), op.45\*

ソプラノ:  
高橋絵理\*

Eri Takahashi, soprano

バリトン:  
与那城 敬\*

Kei Yonashiro, baritone

合唱: 栗友会合唱団 Ritsuyukai Choir, chorus

合唱指揮: 栗山文昭 Fumiaki Kuriyama, chorus master

●チケット料金● S ¥8,000 A ¥7,000 B ¥5,500 C (完売) P ¥4,000 (僅少)

●お問合せ&amp;お申込み●

新日本フィル・チケットボックス TEL.03-5610-3815 (月~金:10~18時、土:10~15時、日祝:休)

新日本フィル・チケットオンライン www.njp.or.jp

●チケット一般発売日● 2019年2月19日 [火] 10時~

beyond  
2020